

・企業要件に関する技術資料

評価対象業務 1 の実績 ※ 1				
業務名	規模・構造	発注者	受注形態	履行期間

過去の受賞実績 ※ 2				
受賞した賞	受賞年月	業務名	用途	構造・規模

- ※ 1 ・評価対象業務 1 における実績件数を記載してください。
 ・「評価対象業務 1」とは、平成14年度以降に竣工した延べ面積6,000㎡以上の学校の新築、増築（増築部分の床面積が6,000㎡以上のもの）並びに改築の工事のための設計業務とします。
 ・また記載した業務の規模、構造、延べ面積及び設計者がわかる書類（建築確認申請書、建築計画概要書、契約書、重要事項説明書、業務計画書、仕様書、図面の写し等）を添付してください。
 ・記載は5件までとします。官民は問いません。
 ・構造・規模は、構造種別―地上階数／地下階数及び延べ面積を記載してください。
 ・受注形態の欄には、単独、JV、協力（協力事務所としての参画）の別を記入してください。

- ※ 2 ・平成14年度以降に竣工した実績で、建築士事務所としての受賞歴があるものについて記載してください。
 ・公共団体、建築学会及び建築設計団体等の建築コンクール等の受賞歴を対象とします。広く公募されたものを対象とし、社内等のコンクール等の受賞歴は評価しません。
 ・受賞実績がわかるもの（賞状のコピー、掲載された雑誌のコピー等及び携わっていたことがわかるもの）を添付してください。
 ・記載は1件とし、1棟の延べ面積を記入してください。官民は問いません。

事務所の体制（技術職員数・資格）※ 3		
分野	資格	人数
建 築 (意匠)	一級建築士	
建 築 (構造)	一級建築士	
建 築 (積算)	一級建築士	
電気設備 (設計・積算)	一級建築士、建築設備士	
機械設備 (設計・積算)	一級建築士、建築設備士	
その他 (土木・造園等の 技術職員)	一級建築士、建築設備士	
合 計		

- ※ 3 ・複数の分野を担当する職員については最も専門とする分野に記入してください。（重複計上はしないでください。）
 ・複数の資格を有する職員についてはいずれか1つの資格の保有者として取り扱います。
 ・構造設計一級建築士及び設備設計一級建築士は一級建築士として記入してください。
 ・再委託先の技術職員は記入しないでください。（評価には含めません。）